

01 楽しく歌うための秘訣

歌うときの声が出にくい、声が疲れやすいなど声のトラブルについて、身体の使い方や考え方で改善策をお伝えします。

講 師

井上 敏典 特任教授

専 門 分 野

声楽、オペラ、合唱

現在の研究テーマ

歌と表現のための発声法

担 当 科 目

声楽、合唱

出 講 可 能 日

金曜日

講義に必要な機材

プロジェクター、スクリーン、ピアノ

02 ピアノの実技指導

ピアノを学ぶ高校生へレッスンをを行います。作曲家による表現の違い、自然で無理のない身体の使い方などを専門的な観点からアドバイスします。

講 師

河江 優 教授

専 門 分 野

ピアノ

現在の研究テーマ

バロックや古典派の鍵盤楽曲、ロマン派から近代に至るピアノ作品の演奏解釈と表現法

担 当 科 目

専門実技ピアノ、ピアノ基礎研究

出 講 可 能 日

ご相談に応じて

講義に必要な機材

ピアノ

研究テーマの詳細



03 音楽療法ってなんだろう？

リズムに沿って体が動く、メロディーに感情が動かされる、懐かしい歌で当時を思い出し、音楽で一体感を感じ、歌に勇気づけられるなど、音楽はさまざまな働きをもっています。音楽療法を受けられる方は、病気や障がいを持つ方だけでなく、一見健康的に見える方であっても“生活する上で困りごとがある方”がその対象者です。音楽の働きを利用して、人が本来持っている「生きようとする力」を引き出し、支え、人生の質を高めることをサポートするのが音楽療法士の仕事です。

講 師

北脇 歩 准教授

専 門 分 野

音楽療法

現在の研究テーマ

エンド・オブ・ライフ・ケアにおける音楽療法、意味志向音楽心理療法

担 当 科 目

音楽療法概論、音楽療法演習

出 講 可 能 日

月曜日

講義に必要な機材

プロジェクター、スクリーン、ピアノ、または電子ピアノ

研究テーマの詳細



04 音楽とは?、そして音楽をどうやって届けるか?

音楽は社会の中での関係性を築いてこそ、この世の中で成り立ちます。「音楽とは何か?」を明らかにした上で、社会の中で私たちは音楽をどうやって受け取っているのかを考えます。

講 師

小味 潤 彦之 准教授

専 門 分 野

音楽学（アートマネジメント）

現在の研究テーマ

音楽におけるアートマネジメントの方法論
関西における洋楽受容

担 当 科 目

音楽ビジネス概論、音楽によるアウトリーチ

出 講 可 能 日

ご相談に応じて

講義に必要な機材

プロジェクター、スクリーン

05 「気持ちをこめる」歌い方

どのようにしたら音楽に気持ちを込めることができるのでしょうか。教材を実際に使って一緒に考えていきましょう。

講 師

松下 悦子 特任教授

専 門 分 野

声楽

現在の研究テーマ

「歌うこと」における詩（言葉）の表現方法

担 当 科 目

声楽専門実技

出 講 可 能 日

月曜日

講義に必要な機材

ピアノ

06 クラシック音楽の楽曲形式

クラシック音楽における代表的な楽曲形式について学ぶ。音楽を聴きながら譜例の分析を行う。

講 師

成田 和子 特任教授

専 門 分 野

音楽創作とテクノロジー

現在の研究テーマ

ハイブリッド・オペラの創作

担 当 科 目

作曲法（編曲法を含む）、音楽創作演習

出 講 可 能 日

金曜日

講義に必要な機材

音楽室での講義、ピアノ、スクリーン、
プロジェクター、オーディオ機器

研究テーマの詳細



07 ピアノの実技指導

バロックから現代音楽まで幅広く任意の曲の指導をします。ロシアンスクールによる腕や身体の重みを使った深い音色の出し方や様々な音楽の表現法、そして作曲家達のバックグラウンドや演奏スタイルなどを含む楽曲の理解を深めます。

講 師

Raffi Besalyan 特任教授 ピアノ

専 門 分 野

現在の研究テーマ

「ロシアンピアノニズムの伝統」

担 当 科 目

専門実技ピアノ、鍵盤楽器奏法研究

出 講 可 能 日

ご相談に応じて

講義に必要な機材

ピアノ

08 作曲家の聴いた音に耳を澄ませる

作曲家は内側から湧き上がる感情や、外界から投げかけられる刺激のあわいで作品を生み出してきました。彼らがどのような響きに耳を澄ませ、どんな手触りの音を信じていたのか。その道のりをたどると、音楽史は単なる年代記ではなく、生きた物語として立ち上がってきます。歴史の出来事としてではなく、音が進化してきたストーリーを一緒にのぞいてみませんか。

講 師

佐原 洸 准教授

専 門 分 野

作曲、電子音響デザイン

現在の研究テーマ

調性音楽の中の非調性的構造、ミクスト音楽の表現

担 当 科 目

音楽創作演習、音楽プログラミング

出 講 可 能 日

ご相談に応じて

講義に必要な機材

プロジェクター、スクリーン

09 スペイン近現代の音楽

スペインの音楽というとフラメンコなどが思い浮かびます。そのようないわゆる「スペイン風」と、本来のスペイン人の音楽との関係はなかなか複雑です。スペイン近現代の音楽家たちを新たな観点からご紹介します。

講 師

椎名 亮輔 特任教授 音楽学

専 門 分 野

現在の研究テーマ

フランス・スペイン近現代音楽

担 当 科 目

音楽史（近・現代）、音楽美学

出 講 可 能 日

月曜日

講義に必要な機材

プロジェクター、スクリーン、ピアノ・オーディオ機器があればなお良い

10 心を通わす音楽療法～音楽療法って何？～

音楽は太古から人間の生活に寄り添ってきました。現代では、医療・福祉・教育の現場で、病や障害のある人の心身のケアとして音楽療法が実践されています。実際に使用する楽器やセッションの様子から、その世界を体感してみましょう。また、音楽療法士という資格や職業についてもご紹介します。

講 師

鈴木 琴栄 助教

専 門 分 野

音楽療法

現在の研究テーマ

即興音楽を用いた音楽療法アプローチ、非言語コミュニケーション、音楽心理療法、音楽療法士の養成、音楽療法士のアイデンティティーについて

担 当 科 目

音楽療法各論、音楽療法グループ体験

出 講 可 能 日

ご相談に応じて

講義に必要な機材

プロジェクター、スクリーン、ピアノや楽器などがあると体験的な内容にもできます。

11 楽器から社会を見つめてみよう

学校の音楽室などで、私たちにとって最も身近な楽器の一つであるピアノ。しかし、その姿や音色は、最初から今と同じだったわけではありません。本講義では、ピアノがいつ、どこで発明され、どのように世界へ広まっていったのか。時代とともに変化したその足跡を、社会や音楽作品との関わりから紐解いていきます。

講 師

筒井 はる香 准教授

専 門 分 野

音楽学

現在の研究テーマ

19世紀のピアノ製作と演奏習慣について、中瀬古和の伝記研究

担 当 科 目

音楽史（ロマン派）、音楽通史 A、B

出 講 可 能 日

ご相談に応じて

講義に必要な機材

プロジェクター、スクリーン、可能な場合はピアノ

研究テーマの詳細



12 1.吹奏楽について、2.金管楽器の演奏法について

1. 吹奏楽のサウンドを向上させ、音楽的に良い演奏にするためにアドバイスなどを行います。
2. ユーフォニアム演奏のサウンドを向上させ、音楽的に良い演奏するためにアドバイスなどを行います。
(1, 2 いずれも実技指導中心)

講 師

牛渡 克之 教授

専 門 分 野

ユーフォニアム、吹奏楽指導、指揮法

現在の研究テーマ

ユーフォニアム演奏、指揮演奏、吹奏楽

担 当 科 目

管弦打楽器合奏、専門実技ユーフォニアム

出 講 可 能 日

火・水・土・日曜日

講義に必要な機材

特になし

研究テーマの詳細



13 ヴァイオリン演奏またはヴァイオリンを含むアンサンブルについて

ヴァイオリン演奏、または絃楽器を含むアンサンブルレパートリーを実践で学びます。

講 師

山本 裕樹 教授

専 門 分 野

ヴァイオリン

現在の研究テーマ

ヴァイオリン演奏法

担 当 科 目

専門実技 バイオリン、室内楽

出 講 可 能 日

ご相談に応じて

研究テーマの詳細

講義に必要な機材

皆さんの演奏に必要なもの

